

熊本県立大学COC通信

熊本県立大学
COC推進室

新たな「もやいすと」講義開講

本学COC事業の柱「もやいすと」育成システムの特徴をご紹介します。

約10年前に始まった「もやいすと」

育成プログラムは、学生が卒業後に地域づくりのキーパーソンとして地域の現代的課題に関心をもち、地域の人々と協働して課題解決の方策を考えることが出来る人材になることを目指しています。今年度は、これまでに選択科目だった「もやいすと」関連の講義が大きく変わりました。全学共通の必修科目「もやいすと(地域・防災)ジュニア育成(以降、「ジュニア」)、全学共通の自由科目「もやいすとジュニア育成(以降、「ジュニア」)」を新たに開講します。これまで以上に地域でのフィールドワークをはじめ、ワークショップ等、多様な方法を用いた講義が行われます。



昨年は阿蘇を舞台に、新聞やニュース番組を作り活動を報告しました

第一ステップとなる、「もやいすとジュニア」では、県内の地域を学びのフィールドに、地域課題への気づきを促します。ワークショップや体験学習を通して、自らのアイデアを伝えるスキルを身に付けることが目標です。次のステップの「もやいすとジュニア」では、ジュニアを履修した学生が、実践を通して地域のリーダーに必要なファシリテーションのスキル(目標に向かって組織や仲間の協働を支援し、促す力)や調査技法を学びます。さらに、受講した学生のジエネリックススキル(学士力・社会人基礎力)を評価するシステムの構築を図ります。

平成27年度COC地域志向教育研究 実施中!!

COC連携自治体(熊本県、八代市、天草市、和水町、五木村、相良村)の地域の課題や、本学の教育改革につながる教育手法や評価手法を研究しています。

4月15日に総合管理学部・松尾教授のゼミの時間に、所属する3年生に対して、COC事業の概要と地域課題の説明を行いました。各自治体を取り巻く状況や課題を説明する中で、学生からは地域に向き自ら研究に取り組むことへの率直な意見を貰うことが出来ましたので、紹介します。

・和水町の酒米栽培に関心があり、学生が主催の酒米・利き酒のコンテストを企画したい。

・熊本県のモノを何かひとつじっくりと調査して、全国へ発信したい。

・県内の神社や道の駅に関心があるので、特徴を調査して情報を発信することで、それらに興味を持つ人を増やしたい。

・今まで心に思っていた「これをやりたい」に取り組みチャンスを貰ったと思う。やる気や若さを生かして取り組んでみたい。

通常のゼミの時間を使い、学生達が何に関心があり、熊本県などの地域を舞台に、自ら何を研究していきたいかを考える機会になりました。今後どのように発展するか、引き続き活動を支援しながら報告していきます。

また、COC推進室では、平成27年度も地域志向教育研究を実施します。加えて、各研究室のゼミ活動の一助となるように、学生による地域を対象にした活動を支援しています。ぜひお気軽にご相談ください。



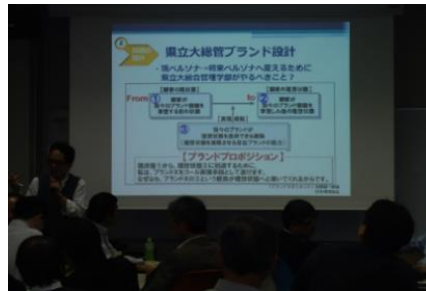
学生との打合せの様子

総合管理学部でフューチャーセッションを開催

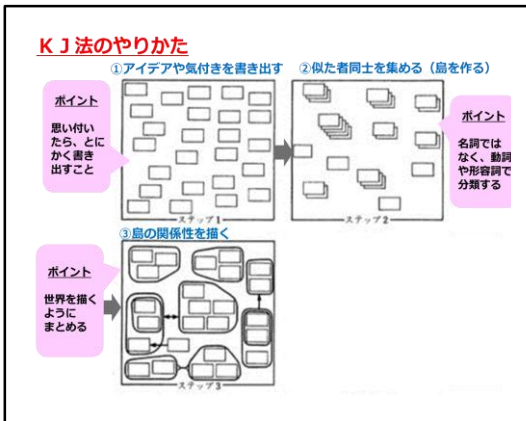
本学の総合管理学部の先生30名が参加した、フューチャーセッションが行われました。総合管理学部を卒業した学生たちの“未来の姿”を想像し、そこから現在を顧みて、今後どのような学びが必要かを考えました。

新年度初日に、グローバルセンター1階 111教室に本学の総合管理学部(以下、「総管」)の先生方が集まりました。目的は、10年後20年後を見据えた教育を行うための学部のあり方を考える、フューチャーセッション(以下「FS」)に参加するためです。

FSとは、未来思考の会議手法で、ある事象の未来の姿について自由に議論し、議論で出た意見や気づきを基に、現在やるべきことや課題を探ります。今回は、手法として、マーケティングで活用されているペルソナ法(実在する人について具体的なデータを基に創った架空の人物像を描く)を使って議論の対象を明確にした上で、KJ法を用いてアイデアや気づきを整理していき、未来の県大生に身に付けて欲しい「知識」「能力」「マインド」、そしてそれを醸成する「場・体験」について、多くの意見が出されました。



丸山先生によるファシリテーションの様子



KJ法の紹介



アイデアや気づきを付箋に書き出し共有し、それらをグループに分けて関係性を探ります。そして、そこから見えることを発表します

議論の中で出たアイデアの一部を紹介します。

- ・失敗を寛容できる力の育成
- ・現状を維持する力の育成
- ・新しい技術に対応できる頭を育成
- ・自発的行動力(リスクテイク)
- ・個人、グループの目標の管理
- ・社会変化に対応する柔軟性の涵養
- ・達成感や充実感の持てる場や環境

終始、活発な議論が展開され、様々なアイデアや気づきに溢れた時間になりました。学生への約束(行動宣言)については、ユニークなものから堅実なものまで幅広い約束が見られました。そして何より、学生達の未来に向けて、

大勢の先生が建設的に議論する機会になったことに、非常に大きな意味があると考えられます。
COC推進室では、学内外でのFSの更なる広がりや様々な場面への活用を進めていきます。FSへ関心を持った方や、会議やアイデアを出し合う場面でやってみたい方は、本学のグローバルセンター1階COC推進室へぜひお越しください。開催に向けてのお手伝いを行います。



3時間にわたってアイデアを出し合いました